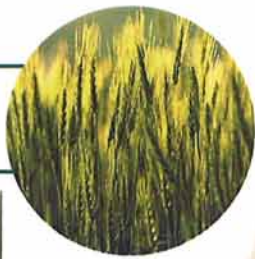


につぼんを残そうプロジェクト



こんななのほしかった！持ち運びラクラクの「鋏」
自転車でも運べ週末農園もはかどります

自宅と離れた市民農園などに鋏を持っていくとき苦労しますね。また、どこに置いてどうか、収納もかさばって悩みます。その煩わしさを解消し、持ち運び・収納を楽にしたのが「持っていくわ」。その名の通り、持ち運びが容易なように作られたもので、なんと業界初、柄の部分が2分割できる設計で、組み立て式なのです。置き場所をとらず、折りたためば車のトランクにもスッポリ収納、自転車や電車での移動もキャリーバッグでラクラク持ち運べます。もちろん、コンパクトになっても、刃は鍛造火造りの本格頑強な作りで、強度と耐久性を実現しました。さらにこの道具を手にした方は、みなさん異口同音に、持ったときの軽さにたいへん驚きます。従来の鋏と比べて軽量化にも成功(約1・6kg)、長時間の作業でも腰や手首への負担が少なくなりました。これなら家庭菜園や週末農園の作業も楽しくできます。



家庭菜園に 週末農園に
ガーデニングに



▲組み立ては、①刃に柄の上部をきっちりとはめて、②柄の上部に下部を差して回して止める2段階でOK。

▶持ち運びに安心な刃先の安全ケース付き。農作業中は柄に巻き付けておけばなくすこともありません。

▶刃は、平鋏と三本鋏(鉋)。



「ガイアの夜明け」で紹介されました

▶キャリーバッグに収納してラクラク持ち運べるから、電車でも移動したり、自転車や車のトランクに積んで。



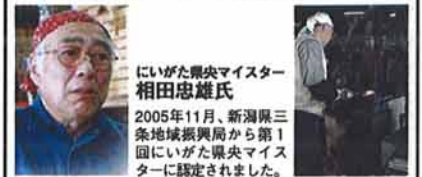
電車でも



自転車でも

越後農鐮冶の魂が宿る鍛造火造り

ドイツのゾーリンゲンにも負けず劣らず高度な刃物の製作技術を誇るマイスターの街、新潟県三条市。「ものづくり研究所」は今回、三条鍛冶の技にこだわり続けている相田忠雄さんと共に、携帯できる鋏を開発しました。お客さまからの「もっと気軽に持ち運べる農具がほしい」というリクエストにこたえて匠が試作、「もの研」開発担当が実際に使ってみて、求められる使い勝手や簡便さ・安全性など何度も改善を行った結果、機能も軽さも満足いくものに仕上がりました。この開発過程は、テレビ東京系列「ガイアの夜明け」でも紹介されましたが、これからも匠の技を現代に生かすため全国の職人さんと協力していきます。



にいがた農央マイスター 相田忠雄氏
2005年11月、新潟県三条地域振興局から第1回にいがた農央マイスターに認定されました。

相田忠雄作
携帯する園芸農具「持っていくわ」

商品番号 PPS139-18703 18,480円(税込)

●セット内容/平鋏、三本鋏、鋏柄、鋏用ケース、収納バッグ ●サイズ(約)/平鋏:刃長30×刃幅12cm、三本鋏:刃長26×刃幅16.5cm、鋏柄:全長91cm(組立時)×径3.5cm ●材質/平鋏:ステンレス製鋼付、三本鋏:S50C本鍛造全鋼、鋏柄:木 ●重さ(約)/平鋏:1000g、三本鋏:600g、折りたたみ柄:630g ●日本製

